

電通、ROBOT と共同でモバイル用の映像表現を研究する
WEB サイト『モバイル表現研究所』を開設
～ プロジェクト第 1 弾は人気アーティスト「JUJU」とのコラボレーション～

株式会社電通
株式会社ロボット

株式会社電通(本社:東京都港区 社長:高嶋達佳)と株式会社ロボット(本社:東京都渋谷区 社長:阿部秀司)は、ネット上に共同実験サイト「モバイル表現研究所(英名:Mobile Art Lab.)」(URL:<http://www.mobileart.jp>)を12月1日に開設する。両社は、同研究所を通じて携帯電話などのモバイル機器を使用して視聴される動画映像の新たな表現研究・開発を行っていく。

プロジェクトの第1弾として人気アーティスト「JUJU」(ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ所属)とコラボレーション。同研究所が開発した新しいモバイル用の表現手法「ペア・ムービー」(3頁を参照)を用いてオリジナルドラマを制作した。同日の12月1日よりソニー・ミュージックモバイル(URL:<http://www.sonymusic.co.jp/drama/juju/>)にて無料配信される。

モバイルのコンテンツ市場が急激な成長をみせるなか、音楽やゲームと比較して、映像に関しては、「モバイル上で見たほうが絶対的に面白い」というコンテンツがほとんど存在していないことに注目。モバイルならではの映像表現手法を研究開発し、広告や映画などへの応用を積極的に試みていく。

モバイル機器の表現手法だけを専門的に扱う研究サイトは世界的にも珍しく、この共同実験サイトが日本だけでなく世界でもモバイル表現の先端事例を扱うサイトとなることを目指す。

モバイル表現研究所は、WEB上の仮想組織であるが、主に電通が企画・開発、及びクライアント企業へのプロモートを担当。ロボットが企画・開発、及び制作を担当する。

電通とロボットはこれまでも、携帯電話向けのアドバゲーム配信サービス「ツイツイ」を開始するなど、モバイルコンテンツ型広告で多くの実績を重ねてきている。今回の取り組みも両社共同展開の一環として、これまでの知見を活かし積極的に推進していく。

WEB サイト『モバイル表現研究所』概要

研究所長
細金正隆 (電通 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

専任研究員
電通より3名 (プランナー3名)
ロボットより3名 (映像ディレクター2名、プロデューサー1名)

研究員以外からも広くアイデアを募集する予定(社外からの参加も検討)



モバイル表現研究所 (<http://www.mobileart.jp>)

プロジェクト第1弾：モバイル表現研究所 × ソニー・ミュージックエンタテインメント

ペア・ムービー「素直になれたら」

人気アーティストの JUJU(株式会社ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ所属)とコラボレーション。11月26日(水)に発売された大ヒットソング『素直になれたら』(JUJU feat. Spontania)を使用したモバイル・ムービー『素直になれたら』を制作。

構成 :全5話 (1話あたり約1分30秒)

内容 :「好きすぎて、本当の気持ちを伝えられない」「終わらせたくないから、始められない」。『素直になれたら』の歌に込められた、そんな女の子たちの切なくて苦しい恋心を描いたラブ・ストーリー。

主演 :田中 美保(オフィスパレット所属)
小野 健斗(スターダストプロモーション所属)

スタッフ :企画: 岸勇希(電通)
監督: 三木孝浩(スターダスト)
制作: ROBOT

配信元 :ソニー・ミュージックモバイル
(URL: <http://www.sonymusic.co.jp/drama/juju/>)
12月1日(月)より無料配信を開始



キャンペーンサイトのTOP画面



第1話「迷い」編の映像
(2つの画面を人がまたぐ等)

ペア・ムービーの楽しみ方

左側のケータイは
第1話「迷い」編(左)をダウンロード

右側のケータイは
第1話「迷い」編(右)をダウンロード

「せーの」を合図に
2人でスタートボタンを押す

2つのディスプレイのなかで
ひとつのストーリーが展開

補足:



「素直になれたら」(11月26日発売)
JUJU feat. Spontania
10月1日より着うたで先行配信され、
13日間で30万ダウンロードを達成。



田中 美保(たなか みほ)
モデル
「non-no」「mina」「Soup」「JILLE」「steady」で活躍。
CMにも多数出演。

()ペア・ムービー について

複数のディスプレイを並べて、空間や心理描写を再現する

モバイル専用の動画手法「ペア・ムービー」

モバイル動画は一般的に1つのディスプレイで楽しむものという既成概念を覆し、2つ以上のディスプレイを自由にくみ合わせて楽しむ動画コンテンツが、今回モバイル表現研究所が制作した「ペア・ムービー」。

サンプル映像 10本! 「ペア・ムービー.com」を同時公開

「モバイル表現研究所」では、研究成果として「ペア・ムービー.com」を公開。

WEBサイト(<http://www.pairmovie.com>)ではペア・ムービーについて紹介。

モバイルサイト(<http://m.pairmovie.com/>)ではサンプル映像10本を無料で公開。



ペア・ムービー再生イメージ
(男性が左画面から右画面へ移動)



ペア・ムービー.com (WEB サイト)
(URL: <http://www.pairmovie.com>)



ペア・ムービー.com (モバイルサイト)
(URL: <http://m.pairmovie.com/>)
画像は開発途中のものです。



ペア・ムービーが持つ3つの革新性

- 革新性 1:** テレビではなく「モバイルで見たほうが圧倒的に面白い映像表現」を実現
- 革新性 2:** 複数人でモバイル画面を覗き込むという「リアルなコミュニケーション機会」の創造
- 革新性 3:** モバイルの録画機能でも、簡単につくることが可能

「ロボット」概要

会社名: (株)ロボット 資本金: 1億円

本社所在地: 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南3-9-7

設立: 1986年6月3日 代表者: 代表取締役社長 阿部秀司

従業員数: 185名(2008年4月1日現在)

事業内容: テレビコマーシャルの企画・制作、劇場映画、アニメーション、CG、TV番組映像物の企画・制作など

【本リリースに関するお問い合わせ先】

(株)電通 広報室

TEL: / FAX: 03-6216-8041 / FAX: 03-6217-5515

(株)ロボット 経営企画室 境 治・五郎丸 弘二

TEL: 03-3760-1064 / FAX: 03-3760-1347

【研究所、その他お客様からのお問い合わせ先】

「モバイル表現研究所」 <http://www.mobileart.jp>

3 「ペア・ムービー.com」

<http://www.pairmovie.com>